

実績

国内景気 前回予想値を上回ったものの8期連続のマイナス

自社業況 2年ぶりにプラスへ転じた

予想

国内景気 先行きは下降を示し、第三波の状況が深刻になるなか、厳しい状況が続く

自社業況 先行きは一進一退の状況が続き、不透明感が拭えない

規模別の業況

今期、大企業よりも中小企業のほうが回復の勢いをみせた

POINT!

国内景気BSI値は8期連続でのマイナスとなったが、
自社業況BSI値は2年ぶりにプラスに転じた

概要

※自社業況(総合判断)は、「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したものの。

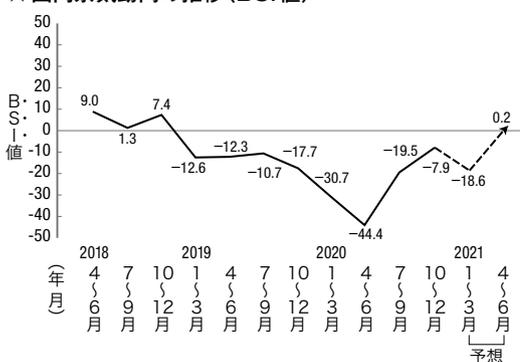
国内景気BSI値

▲7.9

今期の国内景気 BSI 値は▲7.9(前期実績▲19.5)と、全体では依然として、マイナスで推移しているものの、サービス業以外の業種で、前期と比較すると回復していると回答するところが増え、前期に続き、全体としてマイナス幅は小さくなった。

今後の予想については、1~3月期が▲18.6と再び下降を示し、続く4~6月期が0.2と、春の繁忙期を踏まえてやや改善の様相を示している。ただ、感染拡大の状況により予想も大きく変わる可能性も高く、先行きが見通せない状況が続く。

★国内景気動向の推移(BSI値)



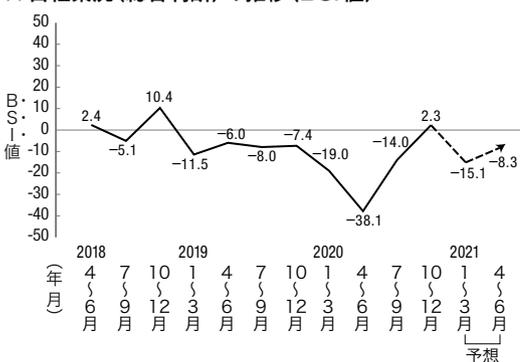
自社業況BSI値

2.3

今期の自社業況 BSI 値は2.3(前期実績▲14.0)と、8期ぶりにプラスへ転じた。秋の紅葉シーズンや年末需要などの季節要因が高まる10~12月期はプラスになる傾向が強い。運輸・倉庫業(9.6)や旅館・ホテル(12.5)などは、Go to トラベルの影響を受けた部分もあると推測されるが、一方で、感染拡大の第三波の影響を受け、料理・飲食は前期のプラスから今期は▲28.6となり、厳しい状況にある。

今期はかろうじてプラスに転じたが、今後の予想については、1~3月期が▲15.1とほぼ全ての業種で大きく落ち込み、続く4~6月期が▲8.3と、一進一退の状況が続く。今後も予断を許さない状況が続くものと推測される。

★自社業況(総合判断)の推移(BSI値)



B.S.I.値の
総括表

	実績		予想	
	2020年7~9月期	2020年10~12月期	2021年1~3月期	2021年4~6月期
国内景気動向	▲19.5	▲7.9	▲18.6	0.2
自社業況(総合判断)	▲14.0	2.3	▲15.1	▲8.3
1 生産・売上高、工事施工高	▲9.0	5.0	▲12.5	▲6.1
2 製・商品・サービス・請負価格	▲4.6	▲0.4	▲3.1	▲1.3
3 経常利益	▲14.0	0.5	▲16.3	▲9.4
4 所定外労働時間	▲10.4	3.8	▲6.7	▲6.9
5 製・商品在庫	12.0	5.6	6.2	4.9
6 資金繰り	▲10.2	▲4.0	▲8.0	▲5.2

(注)10~12月期のBSI値は、2020年7~9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

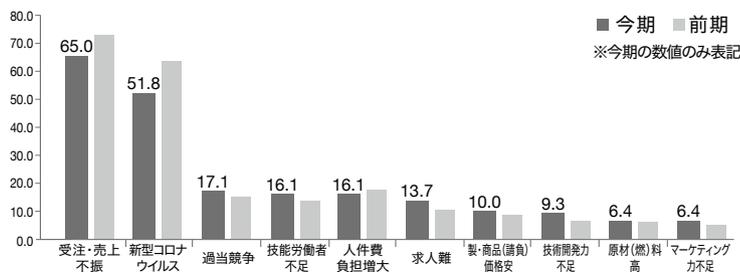
※B.S.I.値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

(注)11月下旬から12月中旬にかけて同調査を実施し、528社中409社から回答を得た(対象は、京都市内に本社、本店を持つ企業)。

当面の経営上の問題点

第1位は「受注・売上不振」(65.0%)、第2位は「新型コロナウイルス」(51.8%)、第3位は「過当競争」(17.1%)、第4位は「人件費負担増大」(16.1%)、同率第4位は「技能労働者不足」(16.1%)であった。

(20項目より3項目以内回答、回答企業数%)



ピックアップ 調査結果のポイント

付帯調査

2021年度の新卒採用活動等について

— コロナ禍により、新卒・中途・非正規の採用を抑える傾向 —

●新卒(2021年4月入社)の採用活動状況<単一回答>

実施中や予定も含めて、「新卒の採用活動を実施した」と回答した企業は、全体の50.5%であった。昨年の同時期の調査と比較すると、9ポイント減。「採用活動の実施は見送った」と回答した企業は19.3%と前年よりも3.8ポイント増加している。コロナ禍により、多くの企業の経営が厳しい状況にあり、先行きが不透明ななかで、採用の抑制が長期化する懸念もある。

新卒(2021年4月入社)の採用活動状況 (<>内は前年の調査結果)	新卒の採用活動を実施した (実施中、予定も含む)	新卒の採用活動の実施は見送った(※1)	もともと新卒の採用を行っていない	検討中である(※2)
総計 (398) / < 407 >	50.5% < 59.5% >	19.3% < 15.5% >	27.1% < 25.1% >	3.0%
規模別				
大企業	80.3% < 89.4% >	14.5% < 4.1% >	5.1% < 6.5% >	0.0%
中小企業	38.1% < 46.5% >	21.4% < 20.4% >	36.3% < 33.1% >	4.3%
業種別				
製造業	48.3% < 54.9% >	18.5% < 17.7% >	29.4% < 27.4% >	7.1%
卸売業	43.5% < 51.1% >	26.1% < 17.0% >	28.3% < 31.9% >	2.2%
小売業	50.0% < 71.4% >	33.3% < 21.4% >	16.7% < 7.1% >	0.0%
建設業	76.7% < 80.0% >	3.3% < 13.3% >	13.3% < 6.7% >	6.7%
不動産業	33.3% < 35.7% >	16.7% < 14.3% >	50.0% < 50.0% >	0.0%
運輸・倉庫業	42.1% < 61.9% >	21.1% < 0.0% >	31.6% < 38.1% >	5.3%
サービス業	56.5% < 72.2% >	21.0% < 12.1% >	22.6% < 15.2% >	0.0%

※1:前年度の設問は「新卒の採用活動は実施しなかった」

※2:前年度には回答選択肢にナシ

●中途採用(正規雇用)の状況について<単一回答>

コロナ禍以前までは、中途採用市場も活発であったが、今年度については、募集の停止や採用人数の削減などの対応をとっている企業が全体の3割強を占めた。

中途採用(正規雇用)の状況について	今年度は例年よりも採用人数や募集回数を増やしている	今年度も例年通りの採用や募集を行っている	今年度は例年と比較して、採用人数や募集回数を減らしている	今年度は採用や募集を停止している	検討中である採用活動を行うか行わないか未定	中途採用はもともと行っていない
総計 (384)	9.4%	34.6%	13.8%	18.2%	15.4%	8.6%
規模別						
大企業	12.5%	44.6%	17.0%	9.8%	10.7%	5.4%
中小企業	8.1%	30.5%	12.5%	21.7%	17.3%	9.9%
業種別						
製造業	11.2%	29.1%	18.0%	19.9%	13.1%	8.7%
卸売業	6.7%	37.8%	4.4%	20.0%	17.8%	13.3%
小売業	5.9%	23.5%	23.5%	29.4%	17.6%	0.0%
建設業	10.0%	56.7%	10.0%	3.3%	16.7%	3.3%
不動産業	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%	36.4%	18.2%
運輸・倉庫業	5.3%	47.4%	0.0%	15.8%	21.1%	10.5%
サービス業	7.1%	39.3%	12.5%	19.6%	14.3%	7.1%

お問合せ先

中小企業支援部
TEL:075-341-9780

調査結果概要は、本所ホームページからダウンロードできます。
京都商工会議所 BSI値